

YAMANASHI

おはけん



紅葉 富沢町立富河小学校1年生・2年生へ贈呈

第6回 山梨県老人保健施設大会開催

県内老健施設一覧

介護部会の活動について

施設訪問記 ノイエス

施設紹介 ケアホーム花菱・勝沼ナーシングセンター



第6回山梨県介護老人保健施設大会は、平成14年11月20日d、ベルクラシック甲府を会場として開催されました。大会は、24施設229名の方々が参加し、野沢実子さん（甲府相川ケアセンター）の歯切れのよい司会に導かれて、開会式・講演・演題発表そして閉会式へとスムーズに進行しました。

開会式は、臼井行夫研修副委員長の開会のことばの後、山梨県福祉保健部次長林健様のご祝辞をいただき、跡部勝朗副会長の挨拶を経て講演へと入っていきました。

講演は、金谷さとみ先生によって、『身体拘束とリスクマネジメント』と題して行われました。講演では、拘束の問題点として、精神的弊害（屈辱感・不安感・意欲低下）、身体的弊害（筋力低下・拘縮）及び社会的弊害（家族の離反）をあげた上で、拘束を継続的に行うことで、施設介護において最も大切な再評価や工夫の努力がされないまま、職員の士気や質が著しく低下していくことが問題視されました。

そして、介護上の問題を解決するための手（手段）は必ずあるはずであり、それを実現できるかどうかは、利用者に対する思いやりの心にかかっていることを指摘し、介護は自分の心の勉強、人間を磨く勉強と思って進めたらどうかという意見には非常に共感することができました。

大会のメインである演題発表は、21施設によって27題の発表があり、今大会には例年にはないいくつかの特徴が見られました。

まず、発表内容については、発表のために急きょ仕上げたという事例ではなく、通常の業務の中から問題点を浮き彫りにし、それに対して真剣に取り組んでいく過程を記録し、まとめ上げた力作が多かったと思います。

次に、発表技術の面においては、スライドにパソコンによるパワーポイントを使った発表が多く見られ、特に、スライドショーを中心に于行われた発表は、流れがすっきりとしていて、視覚的に訴えかけがあって理解しやすかったと思います。

また、発表者のうち男性が14名と過半数であったのも今大会の特徴で、老人介護の世界に少しずつではあるが変化が現れているような気がしました。

さて、9時の定時に始められた大会は、深澤敏男研修委員長の閉会のことばをもって、午後3時40分に終了いたしました。

来年度の県大会は、北陸甲信越地区大会に一本化される予定となっておりますが、開催県である当県の各施設が積極的に参画することが大会の成功を左右する条件であることは言うまでもなく、その意味からも、今大会の盛り上がりは意義深いものであったと思います。



金谷さとみ先生

勤務

介護老人保健施設バステルヴィレッジ
小野（福島県喜多方市）
副施設長・理学療法士・介護支援専門員

活動

全国老人保健施設協会管理運営委員会・リスクマネジメント部会
日本理学療法士協会保健福祉部 他

著書

「介護老人保健施設のリスクマネジメント」(産労総合研究所) 他多数



演題の一覧

セクション1 在宅支援・相談・痴呆

座長 介護老人保健施設「つる」 斉藤直子

- ▶在宅支援に向けて
～ビデオを視聴して家庭復帰をイメージして下さい～
いちのみやケアセンター 支援相談員 古屋広子
- ▶家族と暮らしたい
～在宅生活をかなえる為に～
しおかわ福寿の里 介護職員 皆川直弘
- ▶短期入所療養介護サービスの利用状況
～在宅支援施設として～
峡西老人保健センター 支援相談員 依田 都
- ▶峡西圏域「ケアマネ研究会」発足！
～集まれ！学ぼう！われらケアマネ！～
ケアポート峡西 介護支援専門員 田草川智恵美
- ▶通所リハビリテーション利用者のニーズの分析と取り組み
～利用者本位のケアの実現を目指して～
介護老人保健施設NAC湯村 支援相談員 内藤克博
- ▶当施設における痴呆ケアの変遷
～「困るじゃんけ」から「いっしょに待つけ」の「待合室」～
峡西老人保健センター 介護福祉士 池川陽子
- ▶痴呆高齢者の問題行動への一試行
～暴言・暴行を繰り返す険しい顔が、やっとほころんだ～
山梨ライフケアホーム 介護職 伊藤和也
- ▶まだら痴呆に対する精神的支援の必要性
甲州ケアホーム 支援相談員 後藤みぎわ

セクション2 ケア・栄養・看護

座長 ふじ苑 橘田喜久香

- ▶快適な排泄ケアを目指して
～個々に合ったパット選択・パターンを検討して～
サンビューかじかざわ 介護職員 井上智之
- ▶口腔ケアへの取り組み
～お口の中をきれいにしましょう～
ナーシングプラザ三珠 介護職員 村松昌子
- ▶綺麗にしましょう！
～足の清潔保持をこころがけて～
峡北シルバーケアホーム 准看護師 小林あや子
- ▶皮膚疾患に対する緑茶カテキンの試み
サンビューかじかざわ 介護職員 酒井一晃
- ▶バイキングをより楽しんでいただく為の工夫
～昔懐かしいお袋の味バイキング～
甲府かわせみ苑 栄養士 広瀬智子
- ▶高齢者の呼吸管理におけるSpO2測定値の評価
介護老人保健施設「つる」 看護師 渡辺美穂

セクション3 身体拘束・QOL

座長 峡南ケアホームいいとみ 田中 恵

- ▶身体拘束ゼロから生まれた問題
～ある転倒事故の事例を通して～
峡南ケアホームいいとみ 介護職員 市川文樹
- ▶当施設における車椅子乗車時のずり落ち対策の工夫
介護老人保健施設「つる」 介護福祉士 佐藤宏美
- ▶モジュラー型車椅子を導入して
～座位姿勢不良の入所者への使用報告～
しおかわ福寿の里 理学療法士 藤波靖幸
- ▶抑制にたよらない介護を目指して
～身体拘束廃止に向けての取り組みと今後の課題～
ひばり苑 支援相談員 若杉禎一
- ▶拘束解消への取り組み
～解消できなかったケースの分析～
甲府南ライフケアセンター 介護主任 日川浩幸
- ▶離床のすすめによるQOLの向上
介護老人保健施設白樺荘 介護副主任 長田政子

セクション4 心のケア・レクリエーション

座長 山梨ライフケアホーム 村上一枝

- ▶「ここが一番！！」
～不安を安心に替える取り組みの中で～
介護老人保健施設あさひホーム 介護副主任 森田 誠
- ▶利用者の笑顔を求めて
～ももくら秋祭りへの取り組み～
ももくら 介護職 山本重実
- ▶あなたは楽しく、仕事ができますか？
～自分のために、信頼に応えるために～
ノイエス 介護職 深澤幸子
- ▶作業療法の一環とした音楽活動
～その評価表の検討～
甲府相川ケアセンター 作業療法士 伊藤高文
- ▶その人らしさを求めて
～好みを尊重したレクリエーションから得た効果～
サンビューかじかざわ 介護職員 矢崎みか
- ▶園芸福祉を始めて
ケアセンターいちかわ 介護職員 村松安浩
- ▶「整容」を促す効果について
恵信ケアセンター 通所り八 矢野一彦

県内老健施設一覧



フルールむかわ



峡北シルバーケアホーム



しおかわ福寿の里



NAC湯村



甲府相川ケアセ



あさひホーム



山梨ライフケアホーム



峡西老人保健センター



ひばり苑



ケアホーム花菱



ノイエス



ケアセンターいちかわ



ナーシングプラザ三珠



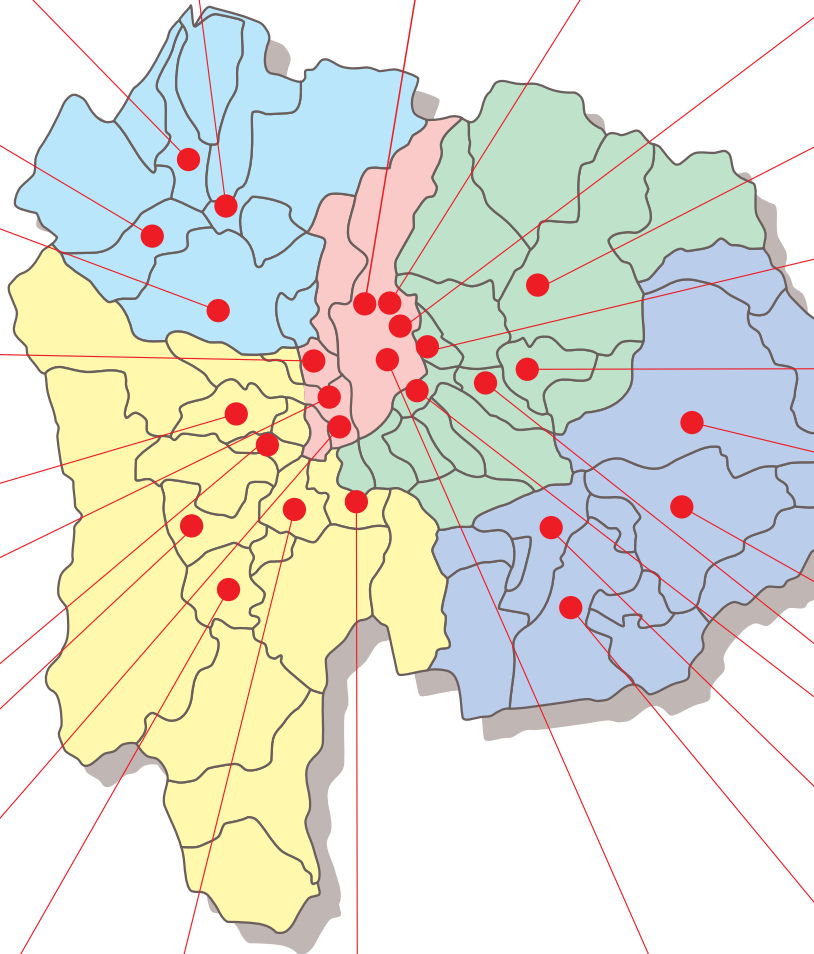
甲府南ライフケ



サンビュ - かじかざわ



峡南ケア・ホームいいとみ





センター



甲府かわせみ苑



恵信ケアセンター



ふじ苑



勝沼ナーシングセンター



ももくら



つる



センター



はまなす



いちのみやケアセンター



白樺荘



甲州ケア・ホーム

	施設名	〒	住所	電話番号
甲府	山梨ライフケア・ホ-ム	400-0111	中巨摩郡竜王町竜王新町2128	055-279-4711
	ひばり苑	409-3852	中巨摩郡昭和町飯喰1277	055-275-9511
	ノイエス http://www4.ocn.ne.jp/~neues/	409-3863	中巨摩郡昭和町河東中島443	055-275-1165
	甲府かわせみ苑	400-0802	甲府市横根町554	055-222-2900
	甲府南ライフケアセンター	400-0851	甲府市住吉5-24-14	055-241-3333
	NAC湯村	400-0073	甲府市湯村3-15-13	055-253-2200
甲府相川ケアセンター	400-0003	甲府市塚原町359	055-252-1600	
東山梨・東八代	甲州ケア・ホ-ム http://www.krg.ne.jp/care/	406-0032	東八代郡石和町四日市場2031	055-263-0242
	ふじ苑	406-0004	東山梨郡春日居町小松855-6	0553-26-5001
	勝沼ナーシングセンター	409-1302	東山梨郡勝沼町菱山中平4300	0553-44-5311
	いちのみやケアセンター http://www3.ocn.ne.jp/~icare/	405-0076	東八代郡一宮町竹原田1255-1	0553-47-4811
恵信ケアセンター	404-0042	塩山市上於善1195	0553-33-3205	
峡西・峡南	ナ-シングプラザ三珠	409-3612	西八代郡三珠町上野2968	055-272-8611
	峡西老人保健センター	400-0307	中巨摩郡櫛形町下宮地421	055-282-7000
	峡南ケアホ-ム いいとみ	409-3423	南巨摩郡中富町飯富1655	0556-42-4314
	ケアセンター-いちかわ	409-3601	西八代郡市川大門町416	055-272-5121
	ケアホーム花菱	400-0402	中巨摩郡甲西町田島1105	055-280-8700
	サンピュ-かじかざわ	400-0601	南巨摩郡鯉沢町340-1	0556-22-7301
峡北	峡北シルバ-ケア・ホ-ム http://www6.ocn.ne.jp/~kyohoku/	408-0023	北巨摩郡長坂町渋沢907	0551-32-6211
	あさひホ-ム	407-0045	韮崎市旭町上条中割473	0551-23-3500
	しおかわ福寿の里 http://www.Salt2910@poppy.ocn.ne.jp	408-0100	北巨摩郡須玉町藤田787	0551-42-4604
	フルリールむかわ	408-0307	北巨摩郡武川村柳沢740-1	0551-26-0111
富士北麓・東部	つる	402-0056	都留市つる5-1-55	0554-45-1813
	白樺荘 http://www.mfi.or.jp/sirakaba/	403-0006	富士吉田市新屋1552-3	0555-24-4211
	ももくら	409-0622	大月市七保町下和田2132-1	0554-20-1111
	はまなす	401-0301	南都留郡河口湖町船津6901	0555-83-3285

介護部会の活動について

介護部会長 山 岸 修



介護部会は県内24ヶ所の介護老人保健施設の介護職員で構成され、介護職員の質の向上を目指し活動しております。今年度は3回の活動を予定しており、第1回・第2回は施設見学と意見交換、第3回については、看護部会と合同でケアの質の向上につながるよう講演会の開催を考えております。

今年度の初めに、活動内容の参考にするため各施設の部会長に対し、意見交換のテーマとして取り上げて欲しいことをアンケート調査したのですが、その結果わかったことは各

施設様々な悩みや課題を抱えているということでした。そこで、今年度からは24施設を大まかな地域ごとに6施設ずつ、4つのグループに分けグループワーク形式での意見交換を行っています。少人数でのリラックスした雰囲気の中で、お互いに率直な意見を出し合うことにより、抱えている課題の解決の糸口が見つけれられたり、近隣の施設同士が部会を通して、より親密な関係をつくることで、部会以外の場所でもお互いの向上のためのコミュニケーションを図ることができるようになっていければと考えています。

今年度第1回目の活動は、6月に、勝沼ナーシングセンターを会場として提供していただき開催しました。勝沼ナーシングセンターは今年の4月に開設したばかりの新しい施設で、参加された部会員のみなさんもその素晴らしい環境や、最新の設備に驚きながらも興味を持って見学されていました。その後のグループワークではレクリエーションの実践に関する各施設の取り組みや、現状・課題について意見交換を行いました。やや時間が短く、思うような話し合いができなかったことが残念でしたが、参加者のみなさんは、意欲的に討論されていました。

年3回の活動という限られた中ではありますが、介護保険制度の中核を担う施設としての認識を忘れずに、県内老健施設にさらなる発展の一助となるような活動をしていけたらと考えております。





音楽療法

訪問した日は、たまたま音楽療法の日でした。第2・4木曜日には、専門講師を招いて、電子オルガンでの伴奏に合わせて、利用者、職員が共に語り、歌います。利用者は、タンバリンなどの楽器を手にして、歌うことが難しい方であっても、音に合わせて楽器を鳴らすことで参加していました。利用者の多くが、楽しみにしている時間だとのことでした。

秋 晴れの心地よい十月のある日、ノイエスを訪問させていただきました。さっそく、前々から気になっていた「ノイエス」という名前の意味を伺うと、ドイツ語で「新しいこと」(NEUES)を意味するそうです。老人介護を通じて「新しい発見」をし、さらによりよい介護へと導くための「新しい試み」を重ねることによって、利用者やその家族に、「真心と技術と環境」でお応じたいとの意味合いから名付けられたとのことでした。

施設の特徴

創設のきっかけは、創設者自身が母親の介護に大変苦労したという体験を通して、「何とかそのような方々の手助けをしたい」と考え、平成6年に県内では11番目の施設として誕生しました。

施設では、利用者や家族に安心して利用していただくために、医療面の充実に心がけ、内科・外科・精神科・整形外科など合わせて6名の医師が利用者の健康管理に従事しています。併設のクリニックが小回りのよい働きをしていて、利用者の体調が悪化した場合でも、他の病院へ移ることなく、併設クリニックでの入院治療ができる利点があります。

地域との触れ合い

地域とのつながりが強いのも魅力です。毎月施設訪問している「かおり幼稚園」、夏休みやお祭りあるいはどんど焼きなどの郷土行事の都度こちらを訪れる「河東中島子どもクラブ」や「河西若竹子どもクラブ」など、その子どもたちとの触れ合いによって、入所者はその出会いに心癒され、子どもたちは入所者から「生きる」ことに対する無形の学びがあり、お互いに、「生きる喜び」が得られていると思えました。

外国文化との交流

山梨県と姉妹州県である米のアイオワ州、その州都デモイン市にある老人施設「ビショップ・ドラム」との交流を始めて5年になるそうです。月々の広報誌の交換、年に一度の職員の行き来など、親善を深めています。今年、7月に3名の方々がノイエスを訪問し、入所者や職員との触れ合いの場が持たれたとのことですが、他の施設ではなかなかできない体験だと思いました。



施設の概要

入所定員	100名(一般70名 痴呆30名)
通所定員	30名
協力病院	甲府脳神経外科
協力歯科	雨宮歯科医院
所在地	〒409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島443
電話番号	055 - 275 - 1165
設置・運営主体	医療法人 立史会

● 施 設 ● 紹 介 ●

ケアホーム花菱

医療法人千歳会
介護老人保健
施設ケアホ
ーム花菱は、平成13年8
月に県内で23番目の老
健施設として、甲西町
に開設いたしました。



甲府盆地南西部に位
置し、周囲には田園地
帯が広がるとても静か
な環境の中に立地して
おります。

建物は、吹き抜けを

活かしゆとりある空間を演出するとともに、廊下・各居室とも和風を基調と
することで、落ち着いた雰囲気の中に清潔でさわやかな印象を与えています。

当施設は、利用される方々の能力に応じたりハビリテーションを実施して
おり、機能訓練的リハビリテーションだけでなく、生活の中にもリハビリ的な
観点を踏まえたケアにも重点をおいています。

入所100名、通所リハビリ20名、グループホーム8名の利用者の皆様が、快
適に過ごせるよう、季節に応じたお花見、納涼会、敬老会、クリスマス会、
遠足等々の催しや、毎月の誕生会などにも力を入れ、利用者の方々が諸行事
に参加されることで孤独感から開放され、より良い生活を送れるように心掛
けています。

地元中学生による職場体験学習、その他ボランティアグループの受入れな
ど地域の皆様とも様々な交流を図っています。

「今、何をしてほしいのか」「何をすべきか、何を期待されているか」を考
え、「明るい笑顔と、やさしい声かけ」で、利用者の方々にいきいきと喜びを
感じていただけるよう、ケアホーム花菱の良い伝統を作っていきたいと思っ
ています。

今後とも皆で学び、日々向上していくこと、それが職員一同の希望です。

勝沼ナーシングセンター



平成14年4月1
日に医療法人
景雲会、春日

居りハビリテーション
病院の姉妹施設として
介護老人保健施設勝沼
ナーシングセンター、
痴呆性老人グループホ
ームアゼリアを開所い
たしました。

入所者の方々には勝
沼ぶどう郷という素晴
らしい環境の中、四季

折々の風景を楽しみながら生活をしていただいております。

介護保険をご利用される方々が多様なサービスを望む中で、施設介護とい
う立場から、病後の家庭復帰を目指し、リハビリテーションや日常生活の支
援等、皆様の心が満ちたり、安心と安定を得られるために充実した施設づく
りに全力で取り組んでおります。

入所定員90名、グループホーム定員9名、通所リハビリテーション定員30
名、短期入所療養介護等、居宅サービスを提供し、在宅での介護のお手伝い
もさせて頂いております。グループホームでは家庭的な雰囲気の中、畑で作
物を収穫し食す楽しみ等、毎日の生活を入所前の生活となるべく同じように
出来るようお手伝いをさせて頂いております。入所中においては、なるべく
早く施設に慣れ親しんで頂けるように、毎月誕生日会やイベントをボラン
ティアグループ、地域のクラブ、幼稚園、保育園等の多くの方々のご協力を得
ながら、施設職員一同日々努力しております。

新しく出来たばかりの施設ですので、地域に溶け込み、交流を深め、地域
に根ざした施設として発展出来るよう今後も努力をして参ります。

シリーズ さくひん



紅葉

[富河小学校1年生・2年生への贈呈作品]

この作品は、思わぬ出会いによって交流の続いていた、
少し離れた地にある小学校の児童達に、彼らが初めて当施
設を訪ねていただいた5ヶ月ぶりの再会の際、記念品とし
てプレゼントしたものです。

その小学校というのは、当施設とは片道約50キロ離れ
ている山梨県の最南端にある富沢町の富河小学校です。今
年の5月、身延町のクラフトパークに出かけた恒例の遠足、
あいにく土砂降りになってしまったのですが、偶然居合わ
せた同校の1年生、2年生の児童達が歌や踊りなどで大い
に盛り上げてくれ、至福のひと時を過ごすことができたの
です。それがきっかけとなり、今日に至るまで、手紙やビデ
オで交流が続いてきました。

再会を果たしたいと願いながらも、とにかく離れており
果たせぬ夢だったのですが、10月18日、富河小学校が秋
の遠足のコースを変更して、初めて当施設を訪問してくれ、
5ヶ月振りの再会が実現いたしました。

そのときのお土産として、約1ヶ月かけて作成したのが
この「紅葉」です。作業療法士と看・介護職員の指導のも
と、全入所者が心を込めて作成しました。紅葉の形に画用
紙を切る方、思い思いの色を塗る方、それを貼り付ける方。
役割を分担しながら、利用者の皆様が一生懸命むき目もふ
らないで、精一杯作り上げました。作成に携わった全利用
者の名前と、利用者から寄せられた子供達へのメッセージ
を書き入れて、無事に完成いたしました。

なお、当日の再会の様子は、民放テレビ局2社によって
ニュース報道され、翌日の山日新聞にも取り上げられたこ
とを、申し添えます。

諏訪社会保険介護老人保健施設
サンビューかじかざわ

副施設長 竹重 敦

編集後記

本年もいよいよ押しつり、一年間を振り返ると国
内外様々な事件、事故等が発生し、激動の年でありま
した。又長引く景気の低迷は経済活動だけでなく住民
生活にも大きな影響を与え続けております。

さて、介護保険制度が施行されて2年が経過いた
しましたが、いくつかの問題点が指摘されています。そ
の制度を常に見直し、改善すべく、3年ごとの見直し
が平成15年度におこなわれます。介護保険の理念、
目的を常に認識し、国民、利用者、保険者、そして、
私もサービス提供側のすべてが納得のいく良質なサ
ービス提供、経営基盤の確保の改正をしていただくよ
う強く期待するところであります。

各施設には、来る年もお幸せでありますようお願い編
集後記といたします。

広報委員長 山田 外 記

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会

事務局 〒406-0032
山梨県東八代郡石和町四日市場2031
甲州ケア・ホーム内
TEL:055-263-0242
FAX:055-263-2250

制作 株式会社 少国民社
甲府市丸の内二丁目7-24
TEL:055-226-2125